

HP Anyware導入ガイド



株式会社日本HP
2024年4月

本資料について

本資料は、HP Anywareのダウンロード、インストールと接続手順について記述したものです。
バージョン24.03(Windows版)を基準としております。
各機能等の詳細につきましては、以下リンク先の製品マニュアルをご参照下さい。

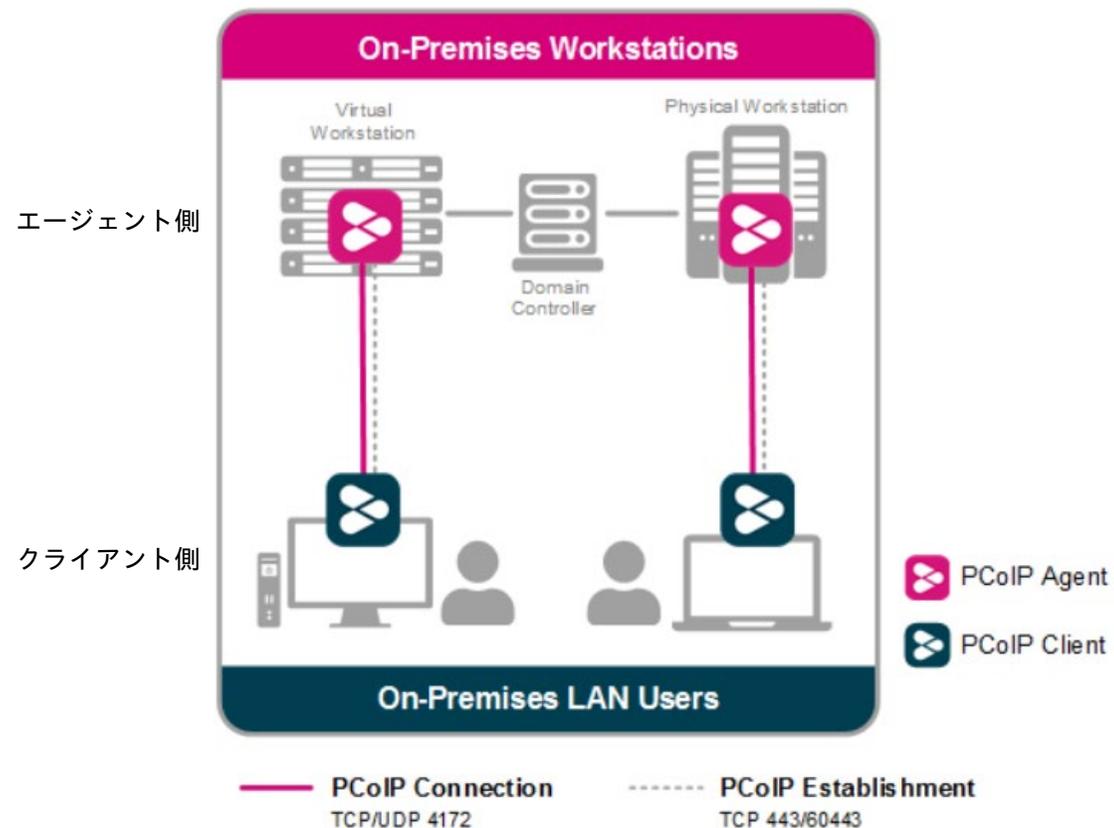
[Anywareグラフィックエージェント](#)

[Anywareクライアント](#)

Anywareの動作の流れ

1. AnywareクライアントからAnywareエージェントへ接続要求を行います。
2. エージェントのユーザー名とパスワードで認証します。認証を通過すると接続を確立します。
3. エージェントでエンコードと暗号化、圧縮を行い、デスクトップ画面をクライアントへ送信します。
4. クライアントでデコードと復号化、展開を行い、デスクトップ画面を表示します。
5. クライアントでキーボード・マウス操作を行うと、エージェントのデスクトップへ反映されます。

接続構成図(直接接続)



HP Anywareのライセンス種別について

HP Anywareには以下のライセンスがあり、違いは下表のとおりです。

ライセンス種別	インストールするエージェント	特徴	想定ユーザー	対応業務
HP Anyware Professional	グラフィックエージェント ※1	CPU/GPUエンコーディングが利用可能	アーティスト、ゲームクリエイター、デザイナー	CAD/CAM(3D含む)、ビデオ編集、ポストプロダクション
HP Anyware Standard	スタンダードエージェント ※2	CPUエンコーディングが利用可能	オフィスワーカー	Webブラウジング、Office、テキスト編集
Desktop Access	-	ゼロクライアントのF/Wアップグレード権	ゼロクライアントのユーザー	ゼロクライアントでの仮想デスクトップ環境利用

※1 対応GPUが搭載されていること

※2 仮想(VMware ESXi、KVM)およびクラウド環境に対応

システム要件 - エージェント

エージェントのシステム要件は、以下URLをご参照下さい。

■ グラフィックエージェント

Windows: https://www.teradici.com/web-help/pcoip_agent/graphics_agent/windows/24.03/admin-guide/requirements/system-requirements/

Linux: https://www.teradici.com/web-help/pcoip_agent/graphics_agent/linux/24.03/admin-guide/requirements/system-requirements/

Mac: https://www.teradici.com/web-help/pcoip_agent/graphics_agent/macOS/24.03/admin-guide/requirements/system-requirements/

※対応GPUが搭載されていること

■ スタンダードエージェント

Windows: https://www.teradici.com/web-help/pcoip_agent/standard_agent/windows/24.03/admin-guide/requirements/system-requirements/

Linux: https://www.teradici.com/web-help/pcoip_agent/standard_agent/linux/24.03/admin-guide/requirements/system-requirements/

※仮想環境(Vmware ESXiなど)のみ対応。物理マシンでの動作には制限あり。

※Macは非対応

システム要件 - クライアント

クライアントのシステム要件は、以下URLをご参照下さい。

■ クライアント

Windows: https://www.teradici.com/web-help/pcoip_client/windows/24.03/requirements/system_requirements/

Linux: https://www.teradici.com/web-help/pcoip_client/linux/24.03/requirements/system_requirements/

Mac: https://www.teradici.com/web-help/pcoip_client/mac/24.03/requirements/system_requirements/

- 1920 x 1080 のデュアルディスプレイ構成の場合、1.6 GHz デュアルコアプロセッサまたはそれ以上、少なくとも 4 GB RAM を推奨しています。
- 4K/UHD のデュアルディスプレイの場合、3.0 GHz 以上のクアッドコアプロセッサと 8GB 以上のデュアルチャンネル RAM を推奨しています。

Anywareのダウンロード-準備

Webブラウザを開いて <https://help.teradici.com/s/login/> へアクセスし、Create an accountをクリックしてアカウントを作成します。

Having difficulties logging in?
Please report the issue here

  Anyware

 Email

 Password

Log in

Forgot your password? [Create an account](#)

Teradici Sales and Support employees? Login here

Anywareのダウンロード-1

インストールするソフトウェアとインストールするマシンは、それぞれ以下のとおりです。

ソフトウェア	インストールするマシン
Graphic Agent または Standard Agent	リモート接続を受ける側のマシン (ワークステーション等)
Software Client	リモート接続をしに行く側のマシン (自宅PC等)

Anywareのダウンロード-2

Webブラウザを開いて <https://docs.teradici.com/find/product/hp-anyware> へアクセスすると、ダウンロードサイトへ移動しますので、ダウンロードするコンポーネントのアイコンをクリックします。

The screenshot displays the Anyware download page, organized into two main sections: PCoIP Hosts and PCoIP Clients. Each section contains a list of available software components for download, all dated 24.03.

PCoIP Hosts
PCoIP hosts capture and securely deliver the host machine's pixel output to PCoIP clients.

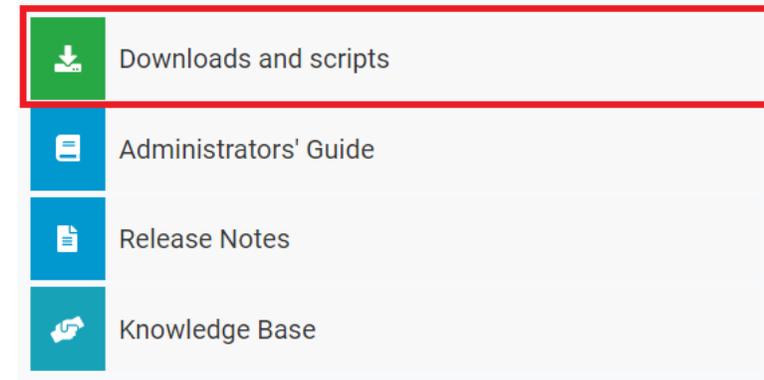
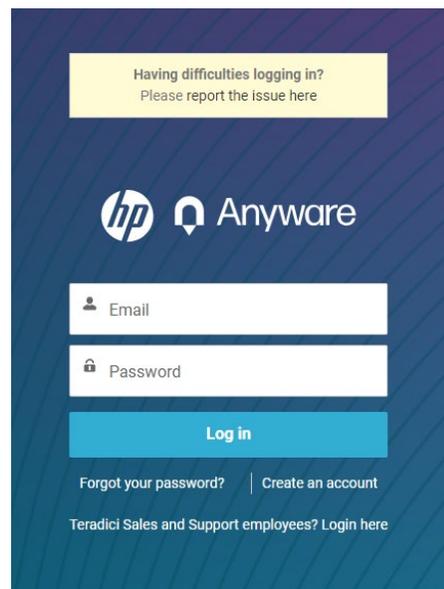
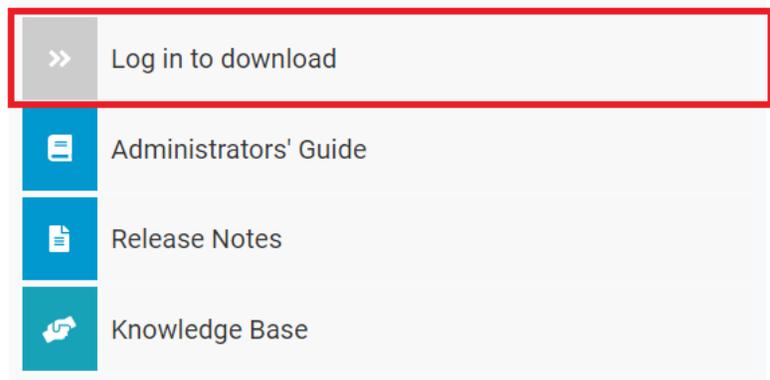
- Graphics Agents
 - Graphics Agent for Windows (24.03)
 - Graphics Agent for Linux (24.03)
 - Graphics Agent for macOS (24.03)
- Standard Agents
 - Standard Agent for Windows (24.03)
 - Standard Agent for Linux (24.03)

PCoIP Clients
PCoIP clients enable you or your users to connect securely to a remote desktop.

- Software Clients
 - Software Client for Windows (24.03)
 - Software Client for Linux (24.03)
 - Software Client for macOS (24.03)
- Mobile Clients
 - Mobile Client for Android Tablets and Chromebooks (24.03)
 - Mobile Client for iOS Tablets (24.03)

Anywareのダウンロード-3

画面右に表示されるポップアップから、Log in to download をクリックします。ログイン画面に遷移しますので、先の手順で作成したアカウントとパスワードでログインします。ログインに成功すると、Log in to download が緑に変わりますので、再度クリックします。



Anywareのダウンロード-4

ライセンスに関する文言を確認し、Agreeをクリックします。最後までスクロールするとボタンが押せる状態になります。次の画面でDownload Now ボタンをクリックします。

HP ANYWARE END-USER LICENSE AGREEMENT

End-User License Agreement

PLEASE READ CAREFULLY BEFORE USING THIS SOFTWARE OR SOFTWARE AVAILABLE ON AN HP PRODUCT:

This End-User license Agreement ("EULA") is a legal agreement between (a) you (either an individual or a single entity) and (b) HP Inc. ("HP") that governs your use of HP Anyware Software Product ("HP Anyware") installed on or

Accept the terms of this license agreement by scrolling through the text and clicking *Agree*.

Agree

exe pcoip-agent-graphics_24.03.0-rc16.exe

Download now SHA

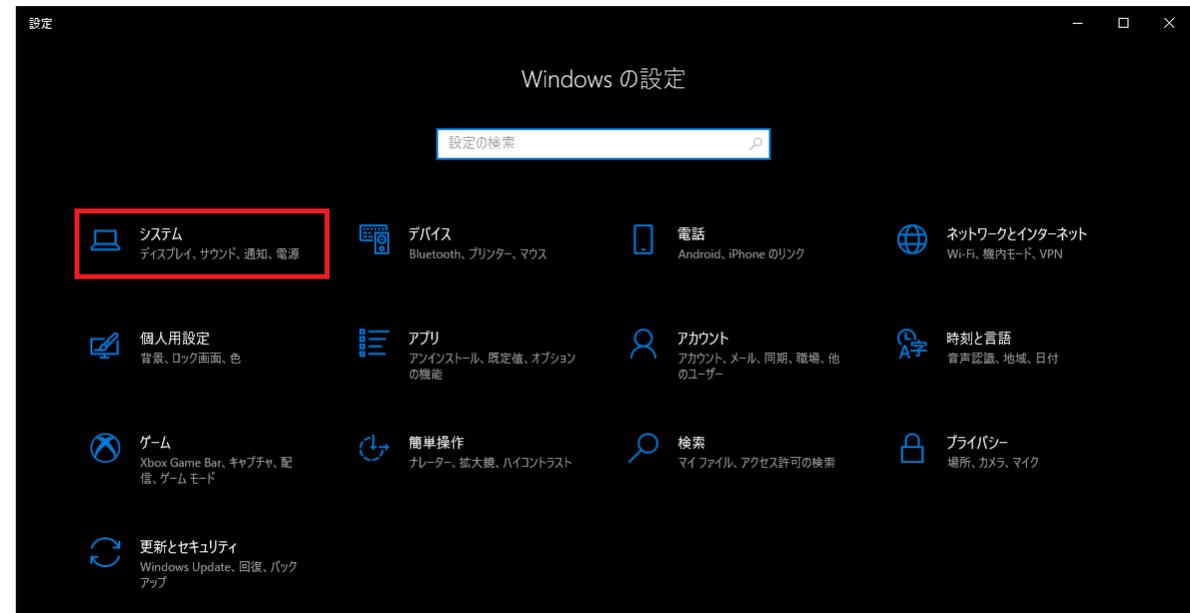
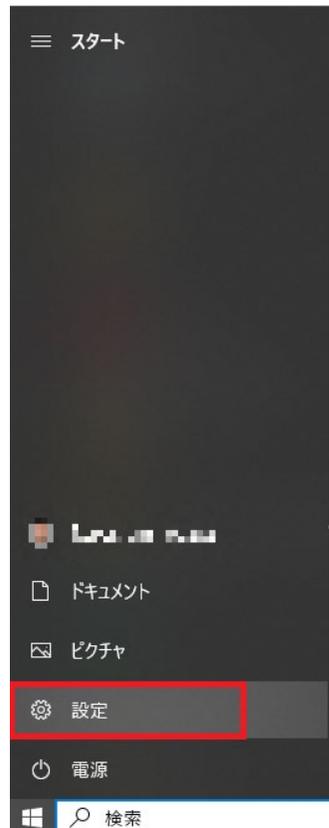
Download using a script

復元ポイントの作成-1

Anywareの使用中に予期しない事象が発生した場合に備え、インストールの直前に復元ポイントの作成を推奨します。以下にWindows 10での手順を示します。

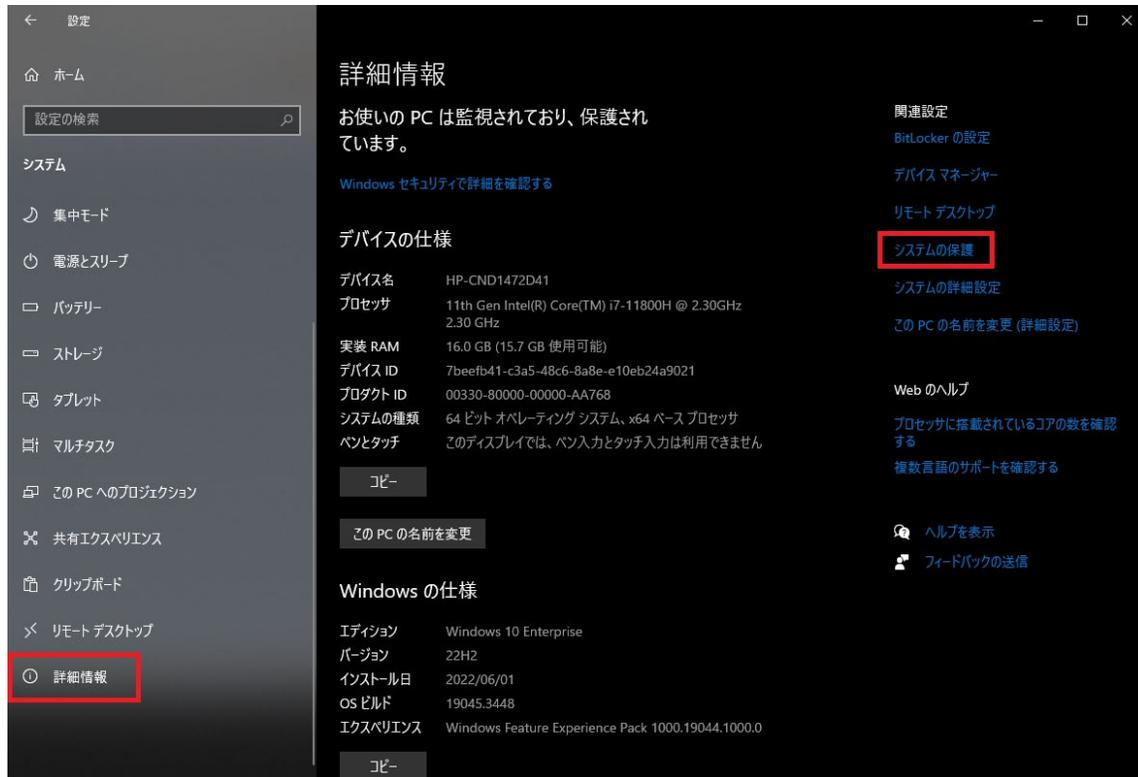
1. Windowsのスタートメニューから「設定」をクリックします。

2. 「システム」をクリックします。



復元ポイントの作成-2

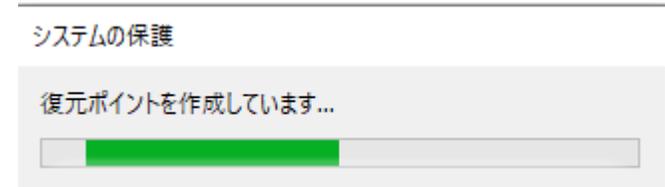
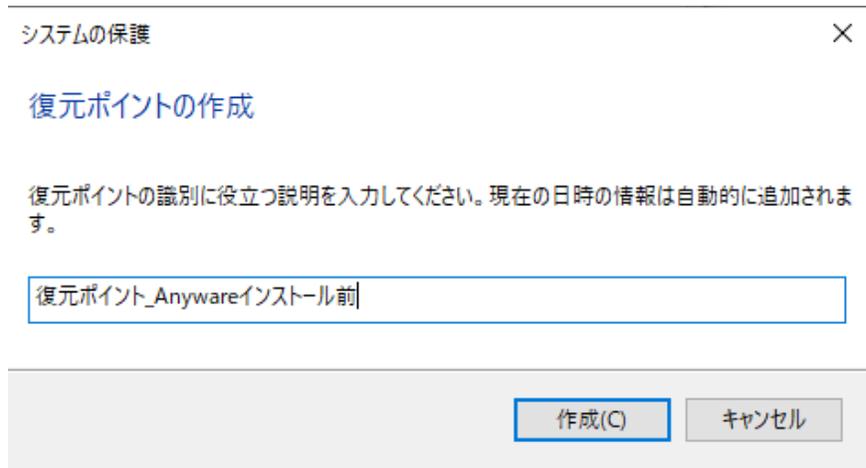
3. 左ペインの「詳細情報」をクリックし、右ペインの「システムの保護」をクリックします。
4. 「作成」をクリックします。



復元ポイントの作成-3

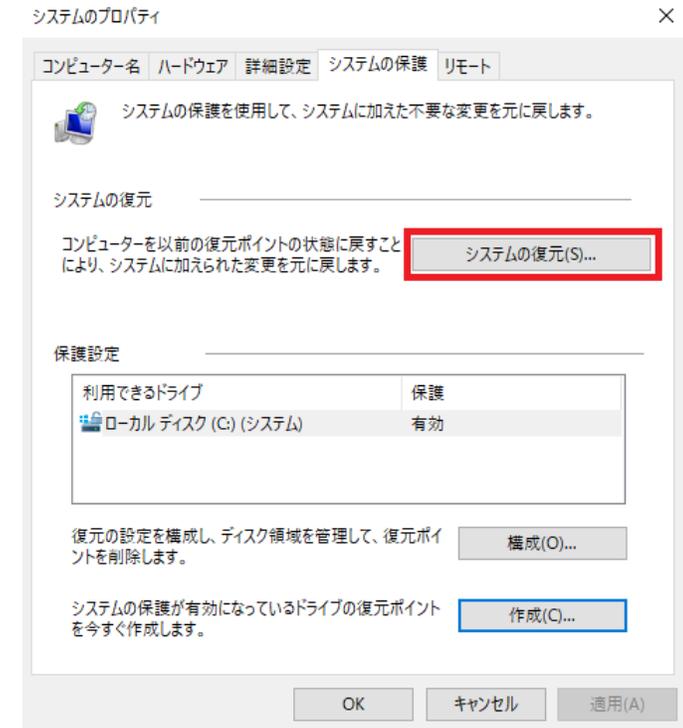
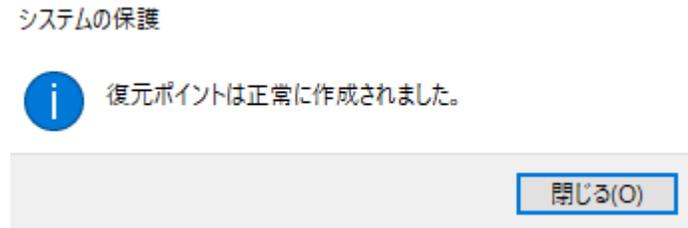
5. 復元ポイントの説明を入力し、「作成」をクリックします。

6. 復元ポイントの作成が行われます。



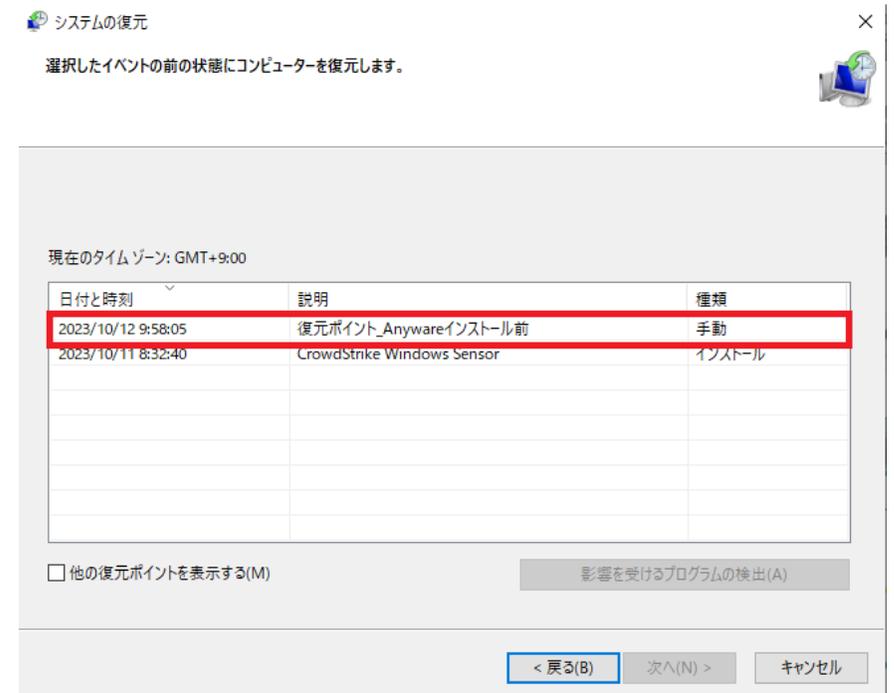
復元ポイントの作成-4

7. 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されるので、「閉じる」をクリックします。
8. 復元ポイントが作成された事を確認するため、「システムの復元」をクリックします。



復元ポイントの作成-5

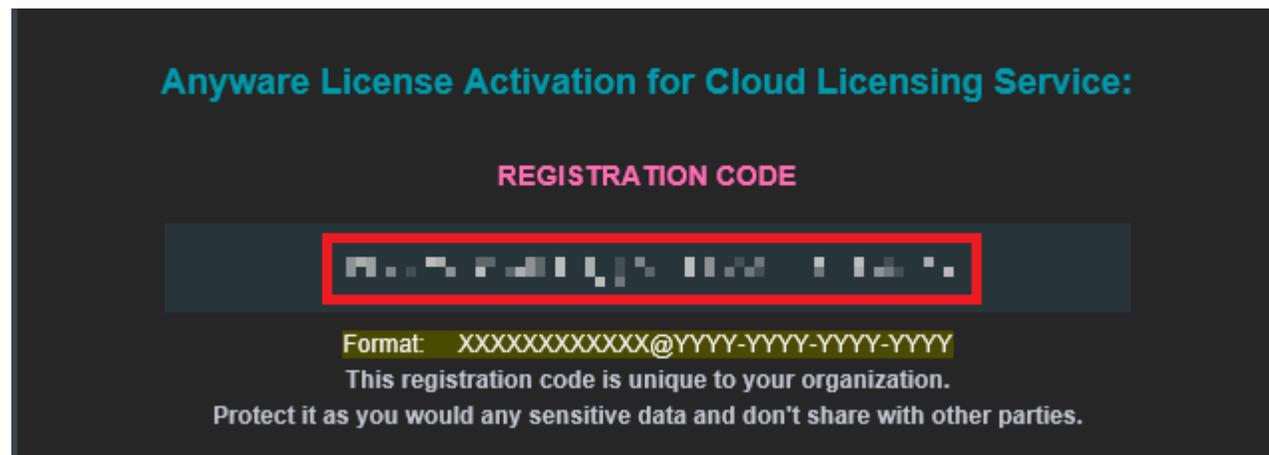
9. 「別の復元ポイントを選択する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
10. 先ほど作成した復元ポイントがリストにあることを確認し、「キャンセル」をクリックします。



レジストレーションコードの確認

レジストレーションコードはライセンスキーに相当し、途中に@を含んだ文字列です。
ライセンスメールの、REGISTRATION CODE 欄に記載されています。

エージェントのインストール時に必要ですので、参照可能な状態にしておいて下さい。



注意 - エージェントのIPアドレスについて

エージェントとして使用するマシンのIPアドレスは、固定IPアドレスを指定して下さい。

DHCP(自動取得)にしてしまいますと、マシンの再起動などによってIPアドレスが変わってしまう場合があります、クライアントからの接続ができなくなってしまいます。

注意 - クラウドライセンスサーバーについて

クラウドライセンスサーバーは、以下URLの説明に記載された場所に設置されています。エージェントマシンからこれらのドメイン名、IPアドレスへの通信が許可されている事をご確認下さい。(会社のファイアウォール等で禁止されている場合があります。)

使用するポートはTCP 443(SSL)です。

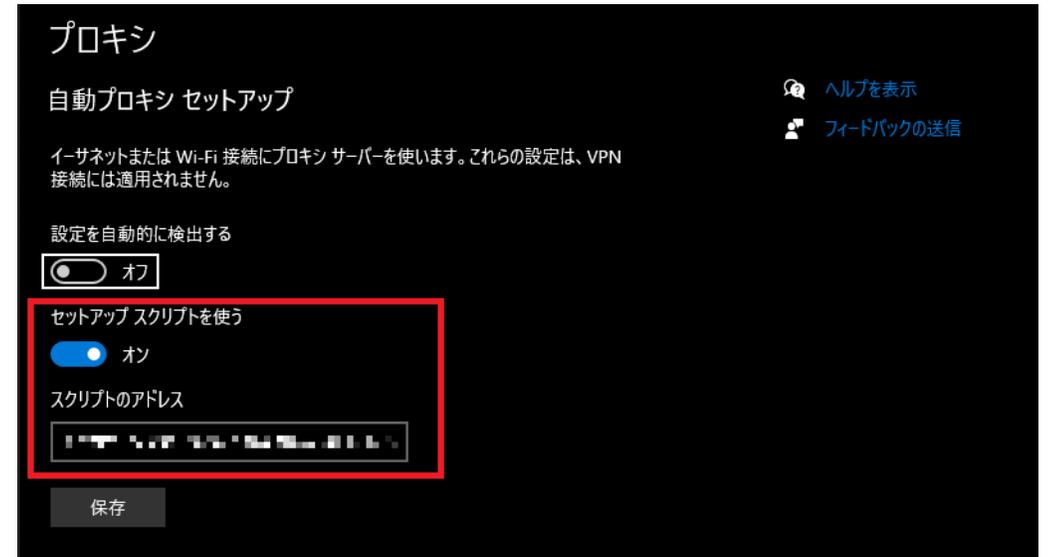
https://www.teradici.com/web-help/pcoip_agent/graphics_agent/windows/24.03/admin-guide/licensing/licensing/#using-hp-anyware-cloud-licensing

注意 - プロキシの自動構成スクリプト(PAC)について

エージェントマシンが、セットアップスクリプト(PAC)を使用してインターネットへ接続している場合、Anywareでは対応しておらず、クラウド上のライセンスサーバーへ到達できないため、ライセンス認証が正常に行えません。

回避策は、以下のいずれかになります。

- ・セットアップスクリプトではなく、固定(静的)のプロキシサーバーを指定する。
- ・プロキシサーバーを使用せず、直接インターネットへ接続可能な環境とする。
- ・ローカルライセンスサーバー認証とする。(ライセンスサーバーの構築が必要です。)

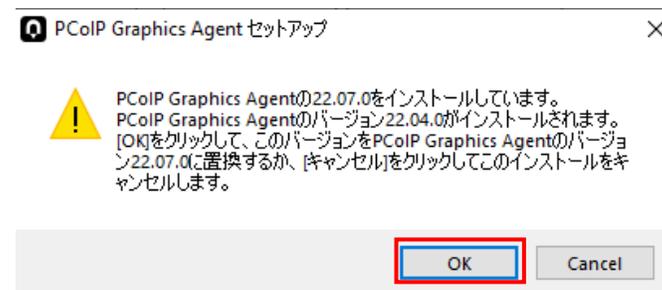
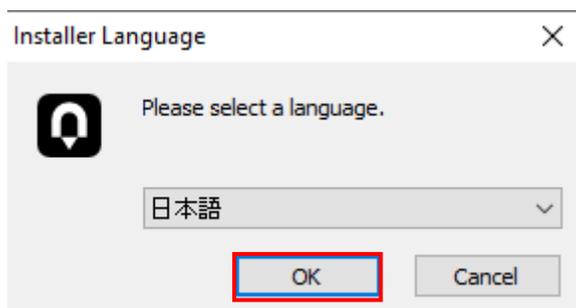


エージェントのインストール-1

ダウンロードした「pcoip-agent-graphics_[バージョン].exe」を管理者として実行します。インストールウィザードが起動します。

「Installer Language」の画面で「日本語」を選択して「OK」をクリック。

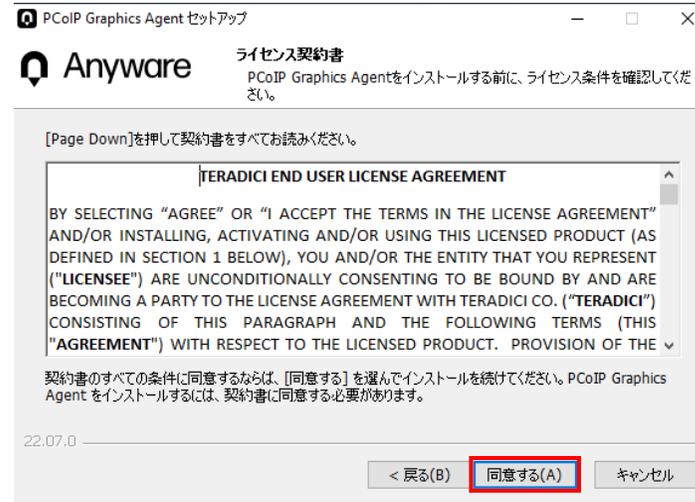
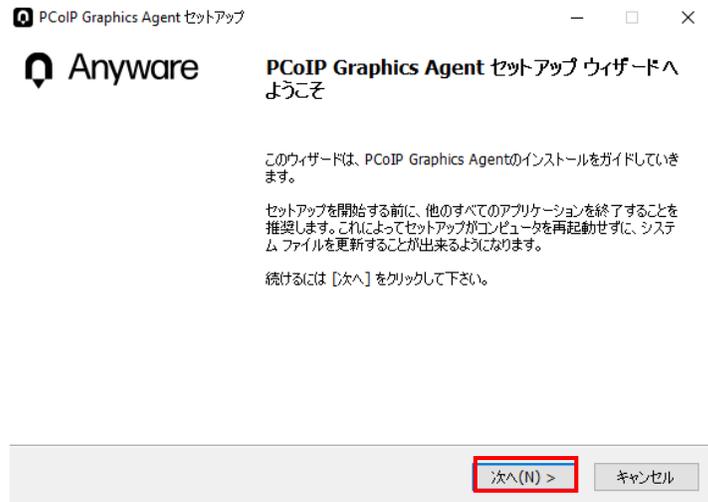
別のバージョンが既にインストールされている場合は、右の警告画面が表示されますので、「OK」で継続するか「Cancel」でインストールを中断します。



エージェントのインストール-2

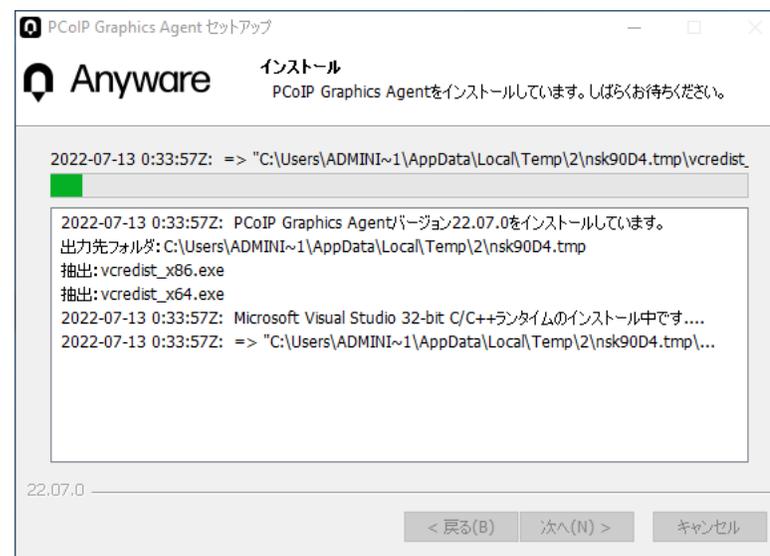
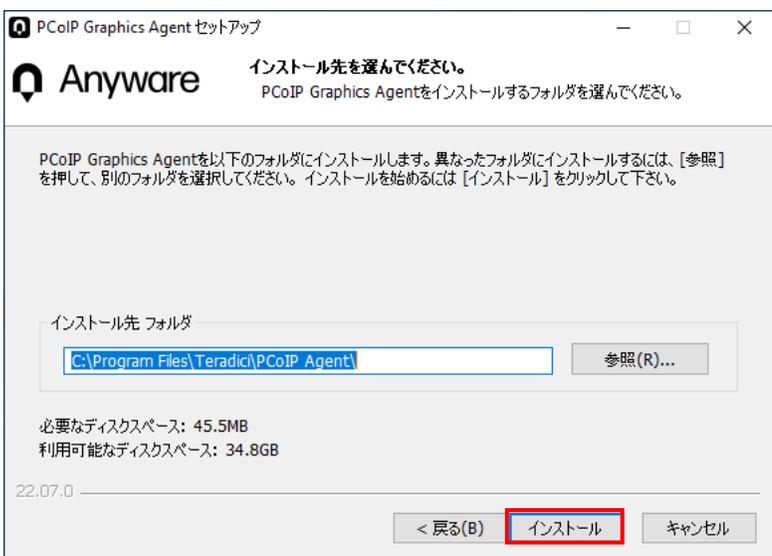
セットアップウィザードへようこそ 画面で「次へ」をクリック。

ライセンス契約書の内容を確認し、「同意する」ボタンをクリックします。



エージェントのインストール-3

インストール先のフォルダを「参照」ボタンで選択し「インストール」をクリックすると、インストールを開始します。



エージェントのインストール-4

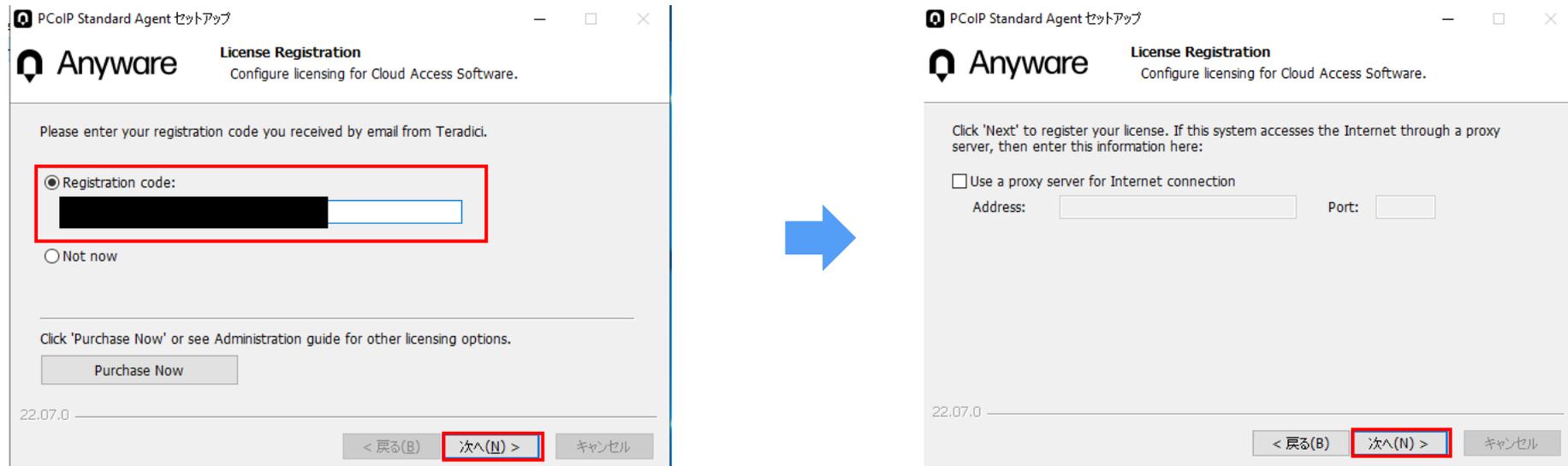
レジストレーションコードを入力し、「次へ」をクリックします。レジストレーションコードは、Anywareの購入時にメールで通知される文字列で、以下の形式です。

XXXXXXXXXXXX@XXXX-XXXX-XXXX-XXXX → 途中に@を含む文字列です。xの部分はお客様ごとに異なります。

プロキシサーバーを使用していない場合、右画面では何も入力せずに「次へ」をクリックします。

(注意)

エージェントマシンがプロキシサーバーを使用してインターネットへ接続している場合は、ここではレジストレーションコードを入力せず、「Not now」を選択して一旦インストールを終わらせ、後の手順に従ってプロキシサーバーの情報を設定して下さい。(ここで設定しても反映されない不具合が確認されております。)



エージェントのインストール-5

暫く待つと、以下の画面を表示しますので、「今すぐ再起動する」を選択してから「完了」ボタンをクリックして画面を閉じると、マシンが再起動されてインストールを完了します。

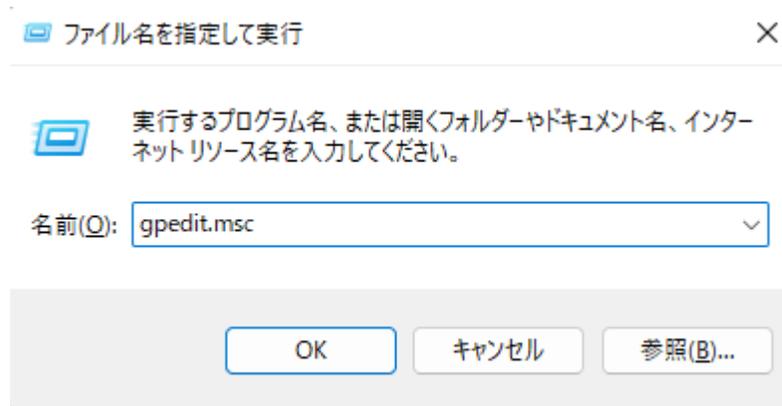
ここですぐに再起動しない場合も、初回の接続前までに必ず再起動を行って下さい。



プロキシサーバーの情報入力-1

エージェントマシンがプロキシサーバーを使用してインターネットへ接続している場合は、エージェントのインストール後、以下の手順に従ってプロキシサーバーの情報を入力します。

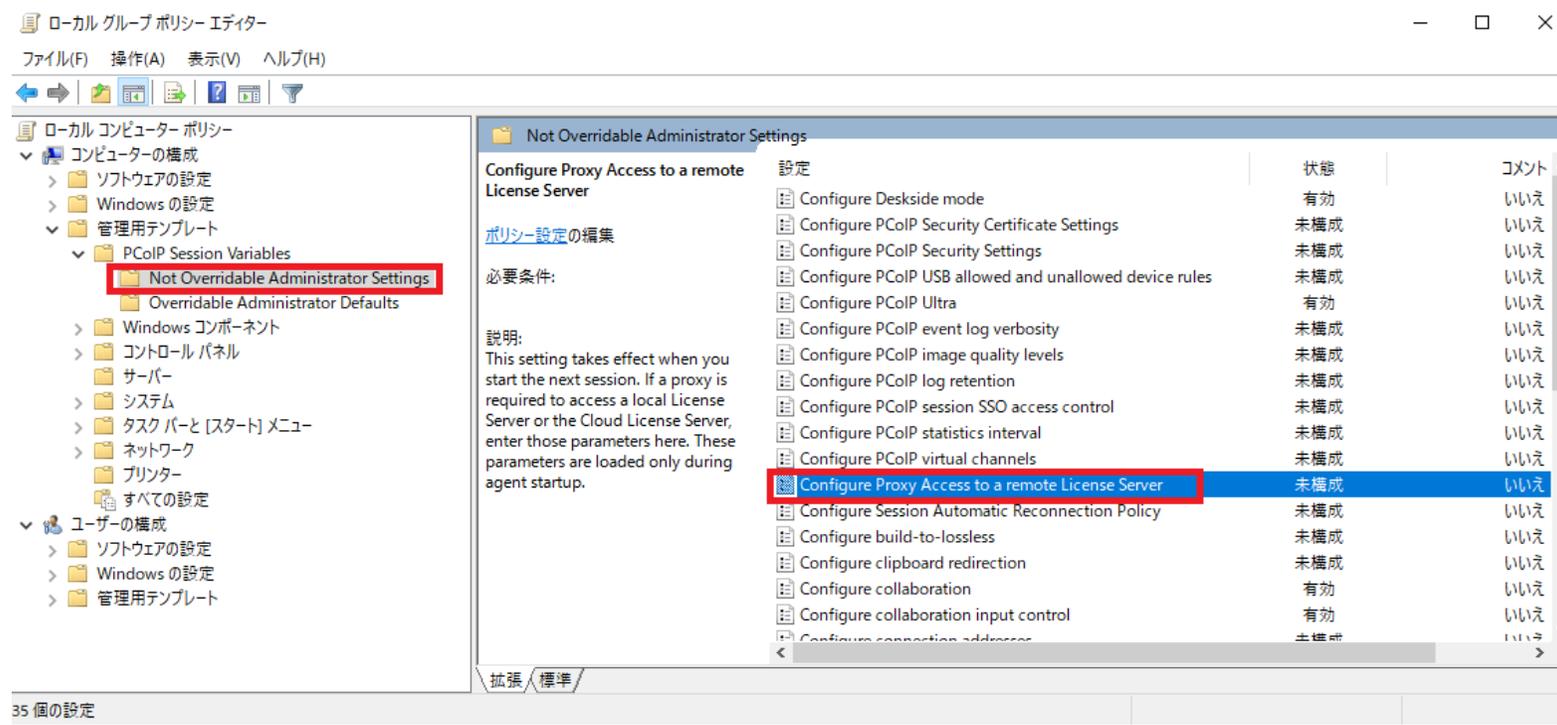
エージェントマシンへ管理者権限を持つユーザーでログインし、Windows + r キーを押してからgpedit.mscを実行します。



プロキシサーバーの情報入力-2

ローカルグループポリシーエディタが起動します。

左ペインのコンピュータの構成>管理用テンプレート>PCoIP Session Variables>Not Overridable Administrator Settingsをクリックした後、右ペインのConfigure Proxy Access to a remote License Serverをダブルクリックします。



プロキシサーバーの情報入力-3

「有効」をクリックしてから、下の入力欄にプロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力し、OKをクリックします。

グループポリシーエディタを終了し、エージェントのマシンを再起動します。

Configure Proxy Access to a remote License Server

前の設定(P) 次の設定(N)

未構成(C) コメント:

有効(E)

無効(D) サポートされるバージョン:

オプション:

ヘルプ:

Enter the proxy machine's name. Any specified protocol prefix (such as http://) is ignored

Enter the port used to access the proxy

This setting takes effect when you start the next session. If a proxy is required to access a local License Server or the Cloud License Server, enter those parameters here. These parameters are loaded only during agent startup.

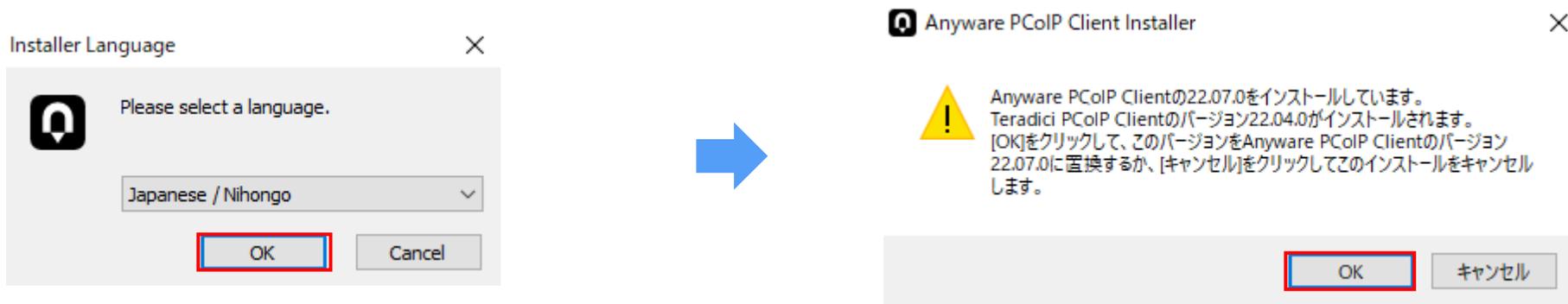
OK キャンセル 適用(A)

クライアントのインストール-1

ダウンロードした「pcoip-client_[バージョン].exe」を管理者として実行します。インストールウィザードが起動します。

「Installer Language」の画面で「Japanese / Nihongo」日本語を選択して「OK」をクリック。

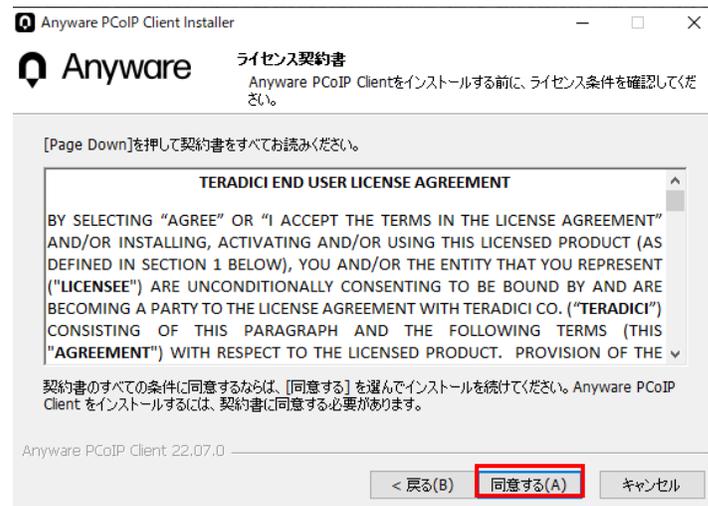
別のバージョンが既にインストールされている場合は、右の警告画面が表示されますので、「OK」で継続するか「Cancel」でインストールを中断します。



クライアントのインストール-2

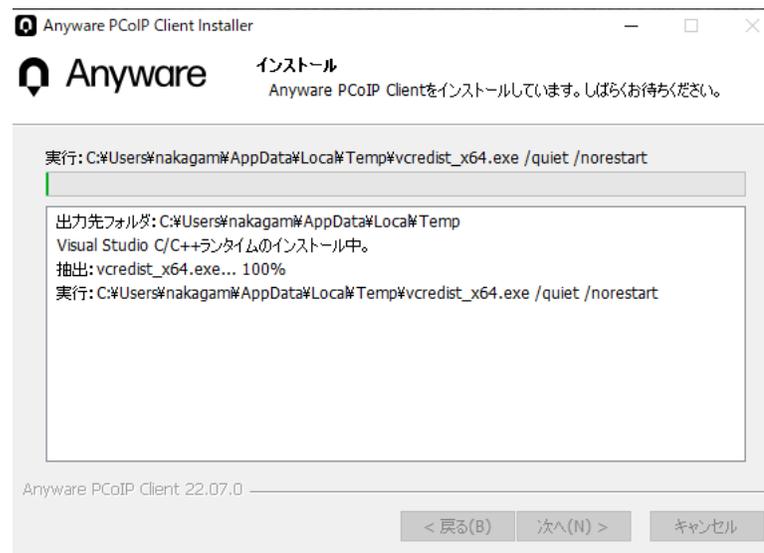
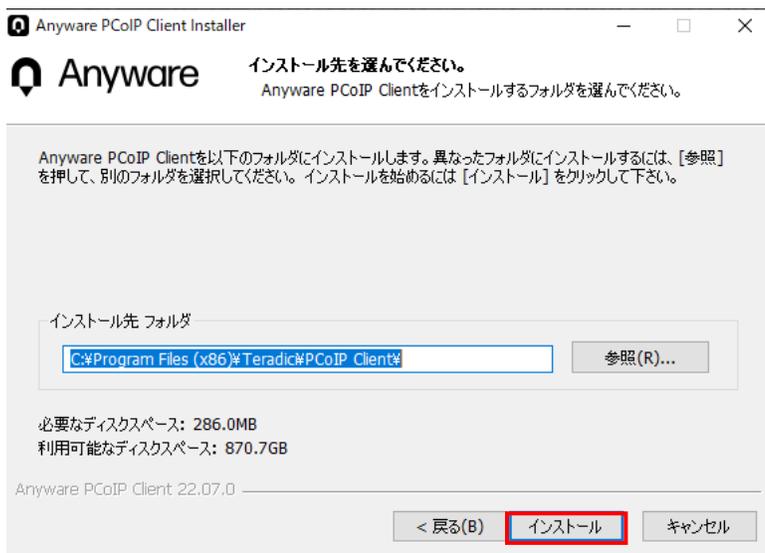
セットアップウィザードへようこそ 画面で「次へ」をクリック。

ライセンス契約書の内容を確認し、「同意する」ボタンをクリックします。



クライアントのインストール-3

インストール先のフォルダを「参照」ボタンで選択し「インストール」をクリックすると、インストールを開始します。



クライアントのインストール-4

暫く待つと、以下の画面を表示しますので、「完了」ボタンをクリックして画面を閉じるとインストール完了です。



インストールの注意点

同じマシンに、エージェントとクライアントの両方をインストールすることは推奨いたしませんので、お客様の責任においてご使用ください。

予期しない挙動やパフォーマンスが低下するなどの問題が報告されています。

【推奨設定】 モニター情報復元-1

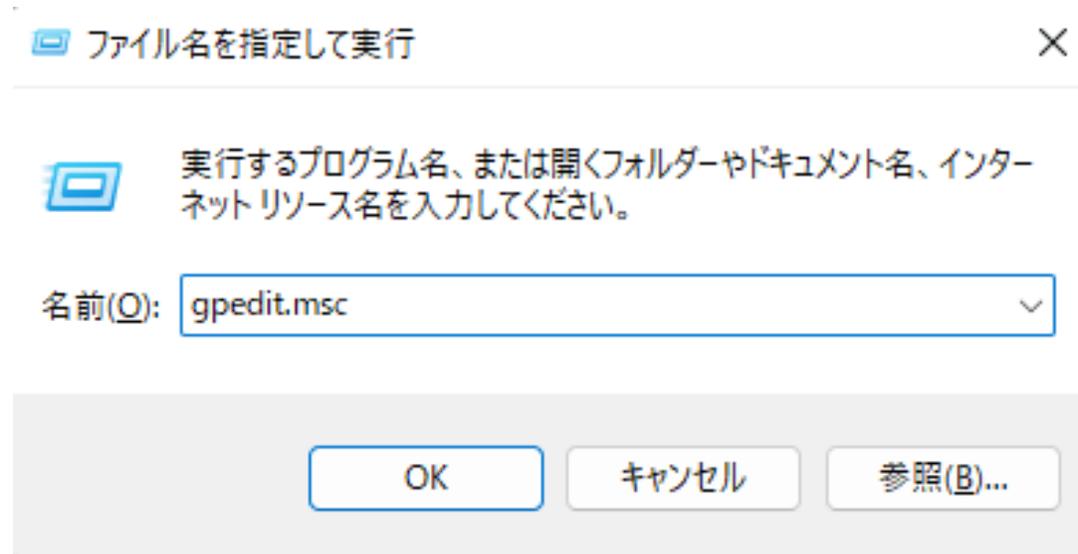
Anywareの接続中はクライアント側のディスプレイ情報を強制的にエージェント側へ上書きする仕様のため、クライアント側で指定した解像度がエージェント側で対応していない状態のままセッションを終了してしまうと、エージェントマシンのローカルモニター表示が回復しない（黒画面のまま）場合があります。

そのため、モニター接続したワークステーションをリモートでもお使いの場合は、初回接続前に以下の設定変更を行って下さい。

【推奨設定】 モニター情報復元-2

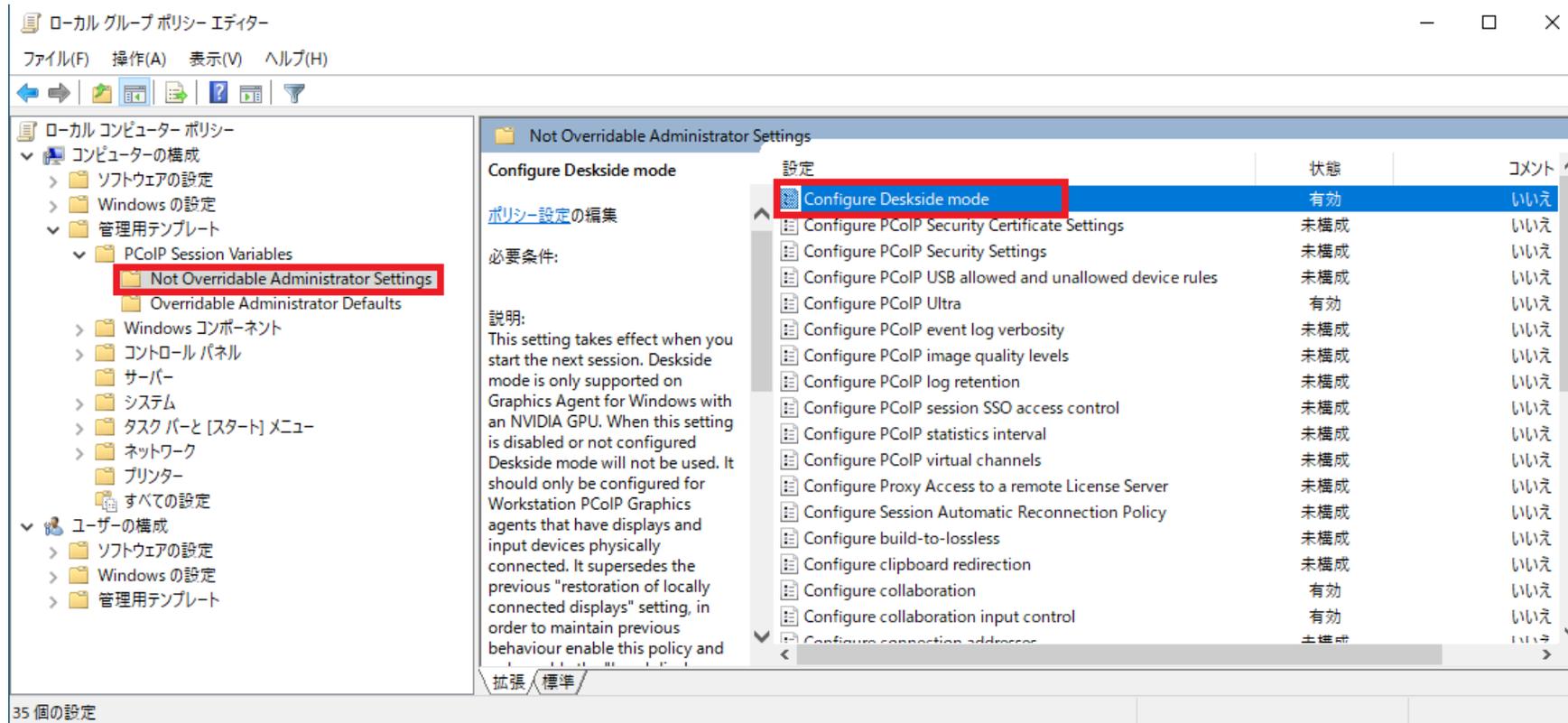
Anywareエージェントをインストールしたマシンへ管理者権限を持つユーザーでログインし、[Windows]+[r]キーを押すと以下の画面が開きますので、gpedit.mscを実行します。

→ 「ローカルグループポリシーエディター」が起動します。



【推奨設定】 モニター情報復元 - 3

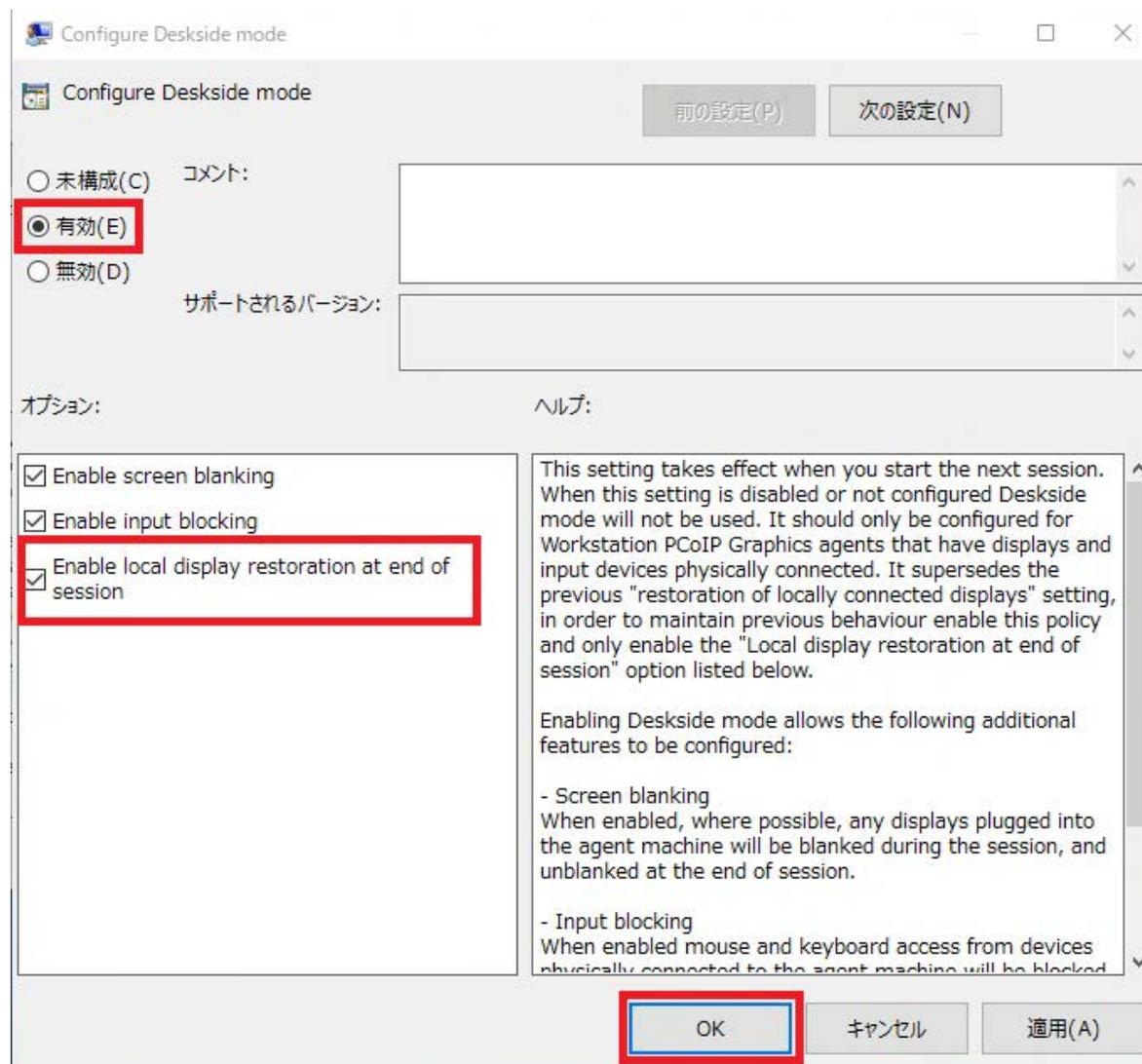
左ペインのコンピュータの構成>管理用テンプレート>PCoIP Session Variables>Not Overridable Administrator Settingsを選択し、右ペインの「Configure Deskside mode」をダブルクリックします。



【推奨設定】 モニター情報復元-4

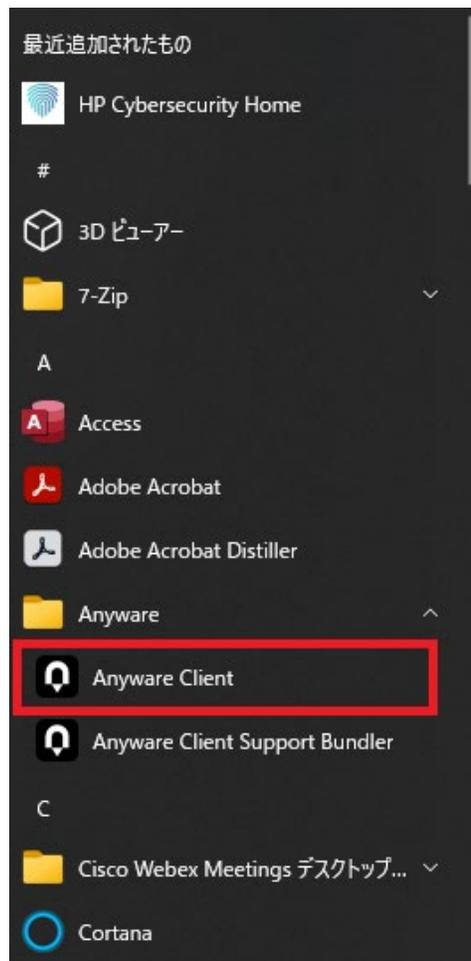
「有効」をクリックしてから、「Enable local display restoration at end of session」にチェックを入れて、OKをクリックします。

グループポリシーエディタを終了し、エージェントのマシンを再起動します。



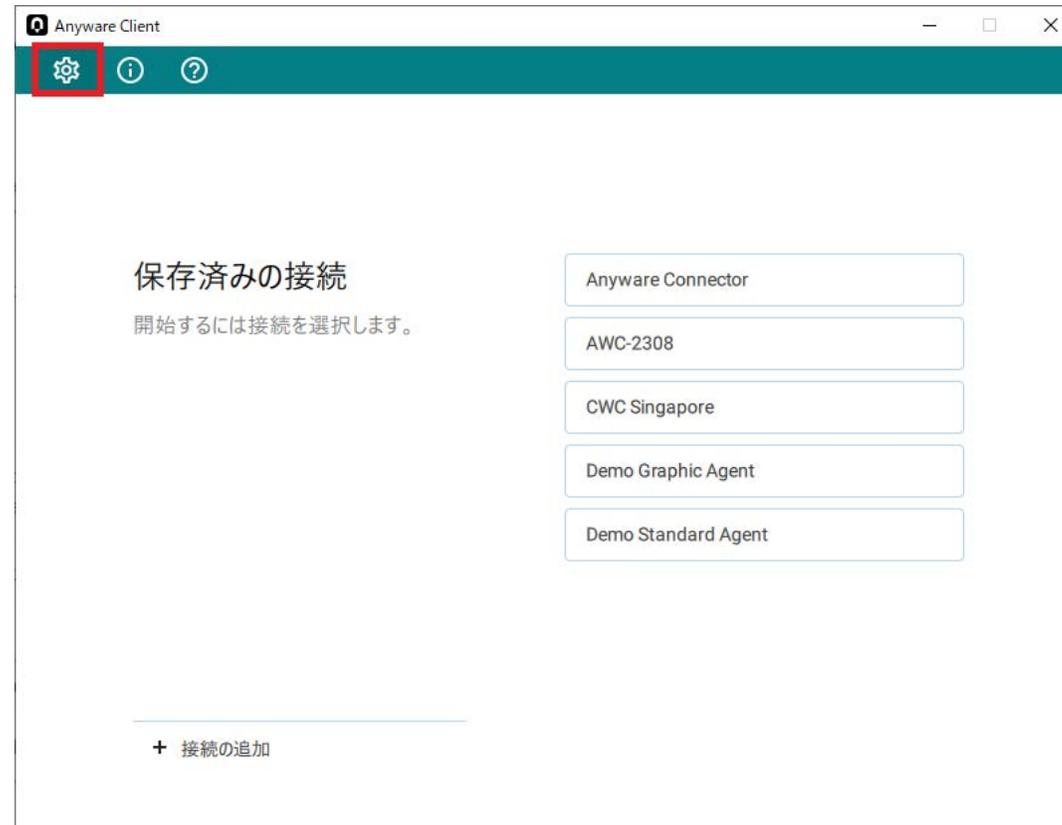
接続 - クライアントの起動

Windowsのスタートメニューから、「Anyware - Anyware Client」をクリックして起動します。



クライアントの設定-1

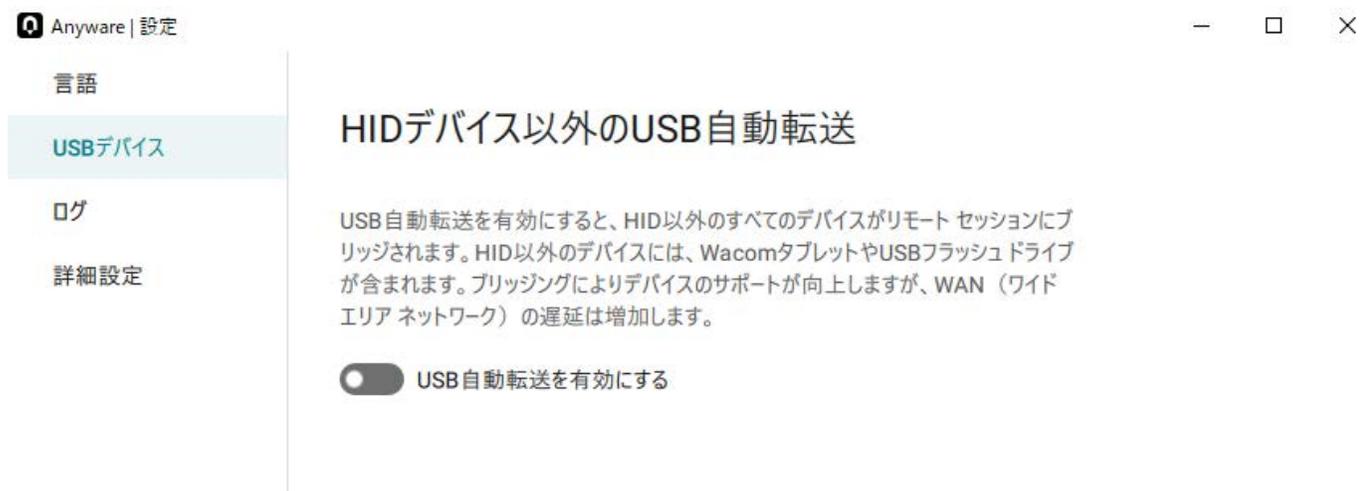
クライアント画面左上の歯車アイコンをクリックすると、クライアントの設定画面に移行します。



クライアントの設定-2

HIDデバイス以外のUSB自動転送

手動での接続を必要とせず、すべての非HID USBデバイスを自動接続することができます。自動接続されたデバイスは、クライアントソフトウェアのメニューから切断・再接続が可能です。



クライアントの設定-3

Logs

クライアントログの収集レベルを指定します。デフォルトは「レベル2：情報」です。

「フォルダーを表示」ボタンをクリックすると、ログが格納されているフォルダをエクスプローラで開きます。



クライアントの設定-4

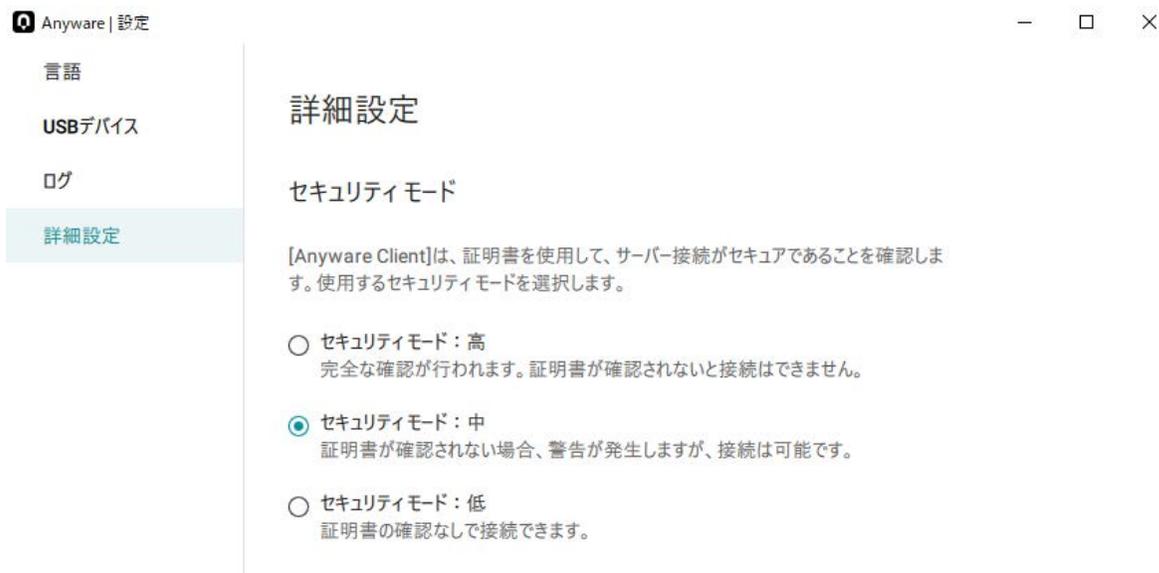
詳細設定 - セキュリティモード

セキュリティモードを設定します。

High : 完全な検証が必要であり、証明書が検証できない限り、ユーザーは接続することができません。

Medium : デフォルト設定です。証明書が検証できない場合、警告画面を表示しますが、接続は可能です。

Low : 検証を行わず、常に接続を許可します。



クライアントの設定-5

詳細設定 - パフォーマンスモード

PCoIPクライアントのパフォーマンスモードを設定します。

標準パフォーマンス：中程度のフレームレートで、一貫したパフォーマンスを提供します。

高パフォーマンス(推奨)：デフォルト設定です。高いフレームレートおよびオーディオ同期を提供し、スムーズな画像を実現します。

高パフォーマンス(レガシー)：このモードは将来廃止予定ですので、推奨しません。

パフォーマンス モード

[PCoIP Client]のパフォーマンス モードを選択します。

- 標準パフォーマンス
中程度のフレーム レートで一貫したパフォーマンスを提供します。事務作業、Webブラウザ、Microsoft Officeアプリケーションなどのパフォーマンス要件の低いソフトウェアに適しています。
- 高パフォーマンス (推奨)
高いフレーム レートおよびオーディオ同期を提供し、スムーズな画像およびビデオを実現します。3Dモデリングおよびビジュアル効果などのソフトウェアに適しています。
- 高パフォーマンス (レガシー)
このモードは将来廃止され、高パフォーマンス モードに置き換えられる予定です。

接続 - 接続先の登録

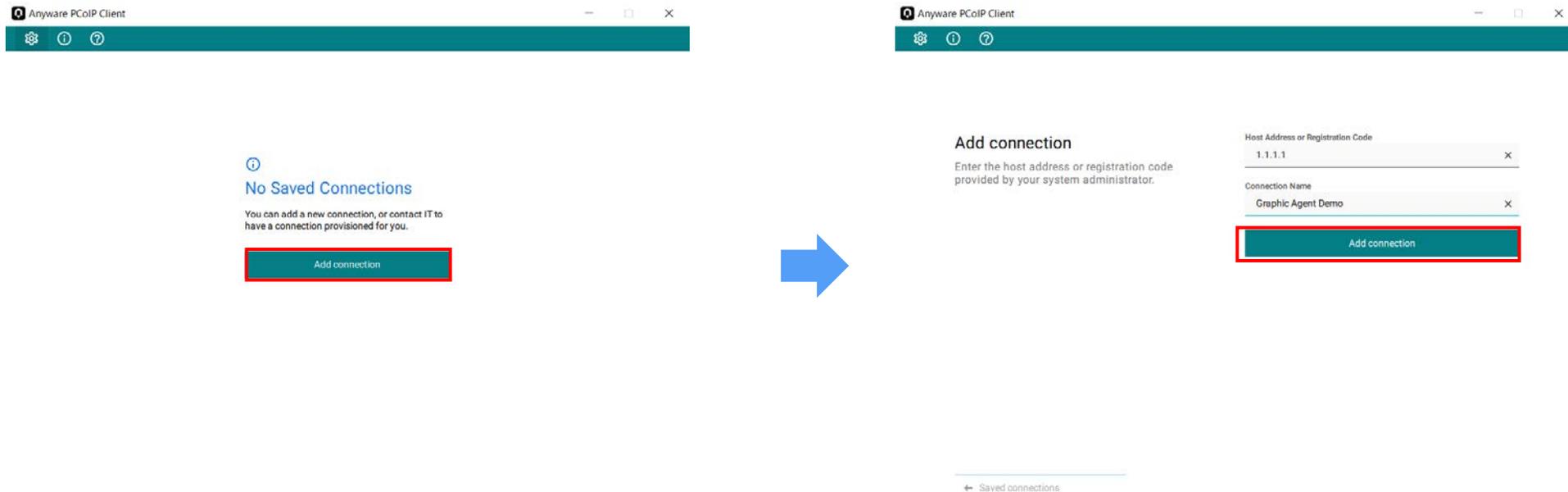
インストール直後は接続先が登録されていない状態です。

「接続の追加」ボタンをクリックします。「ホストアドレスまたは登録コード」欄に、接続先エージェントのIPアドレスまたはFQDNを入力します。

※コネクタ(コネクションブローカー)経由の接続の場合は、コネクタのIPアドレスまたはFQDNを入力します。

「接続名」欄に、任意の接続名(分かりやすい名前)を入力します。

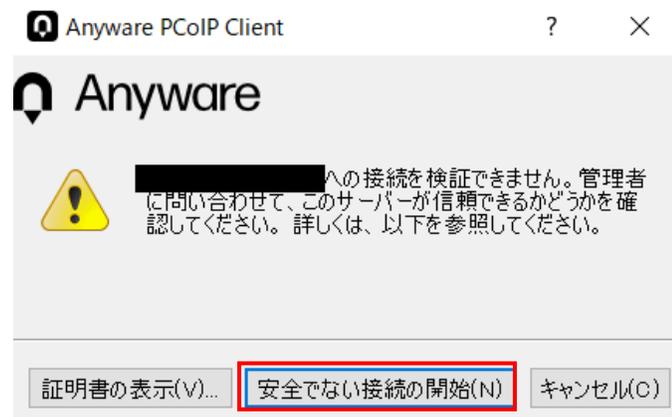
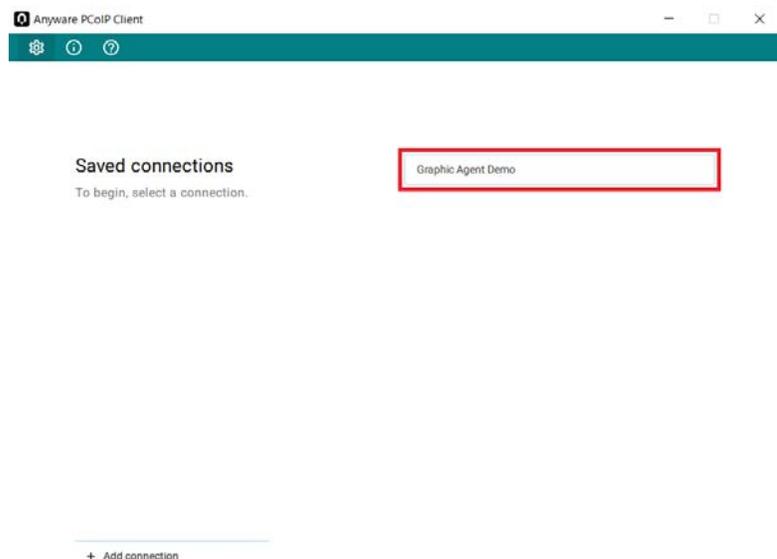
入力後、「接続の追加」ボタンをクリックします。



接続 - エージェントへの接続 - 1

接続先を登録すると、先ほどの画面で入力した接続名の名前でボタンが表示されますので、クリックします。

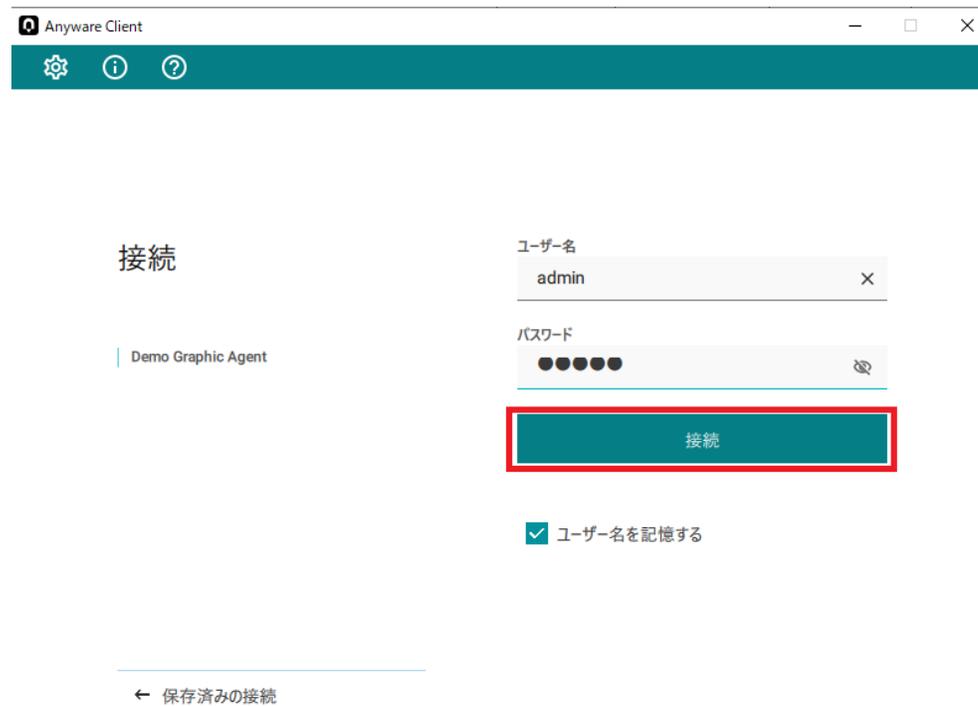
右画面の警告が表示されますが、「安全でない接続の開始」ボタンをクリックして進めます。



接続 - エージェントへの接続 - 2

接続先のユーザー名とパスワードを求められますので、IDとパスワードを入力し、「接続」ボタンをクリックします。

「ユーザー名を記憶する」にチェックを入れると、次回以降の接続はパスワードの入力のみで接続できます。



Anyware Client

接続

Demo Graphic Agent

ユーザー名
admin

パスワード
●●●●●

ユーザー名を記憶する

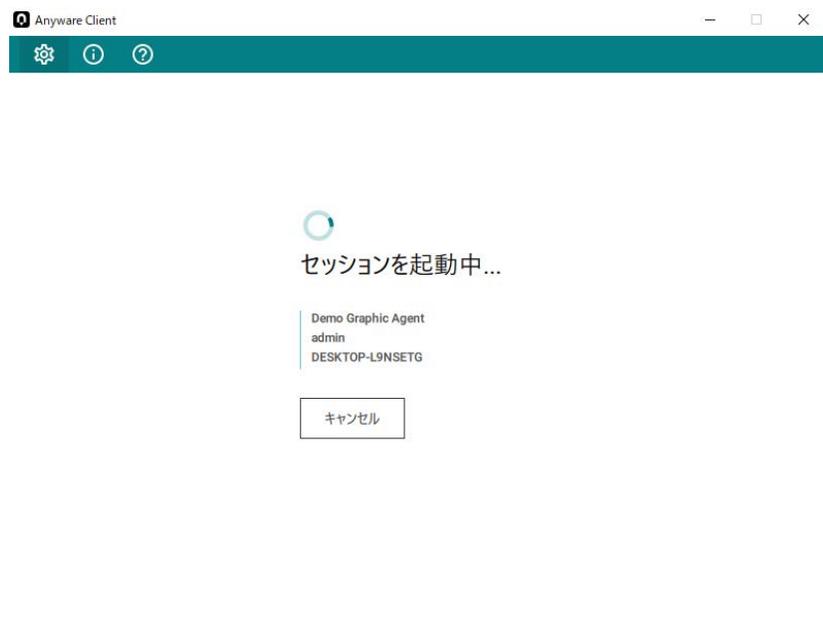
接続

← 保存済みの接続

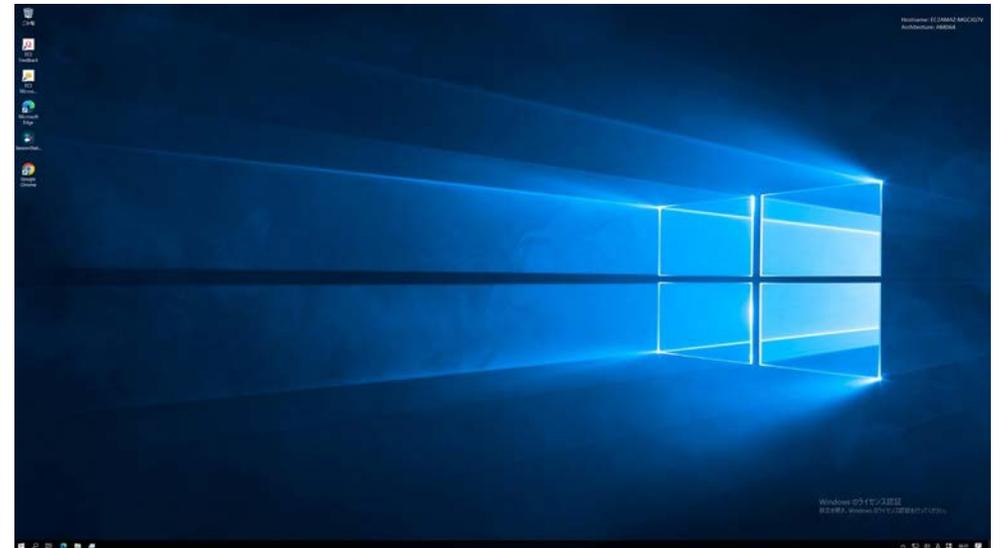
接続 - エージェントへの接続 - 3

左画面が表示され、接続を試みます。暫く待つと接続先のデスクトップが表示され、操作可能な状態になります。

接続中に、左画面の「キャンセル」ボタンをクリックすると、接続をキャンセルできます。



エージェントのデスクトップ画面



デスクトップ画面のメニュー-1

接続先デスクトップの左上には、メニューが表示されます。

画面を最大化するとメニューは非表示になりますが、マウスカーソルを画面上部に持って行くことで再表示できます。

[Anyware Client] メニュー

About Anyware Client : クライアントのバージョンを表示します。

Quit Anyware Client : デスクトップから切断し、クライアントを終了します。

[接続] メニュー

CTRL - ALT - DELを送信 : 接続先のデスクトップに、Ctrl+Alt+Delキーの入力信号を送信します。

切断 : デスクトップから切断し、接続前の画面に戻ります。

USB機器 : クライアントに接続されているUSB機器の入力信号をエージェントのデスクトップにリダイレクトします。(後述)

Relative Mouse : 相対マウスに対応します。相対マウスはCAD/CAMソフトなどで使用されています。

[表示] メニュー

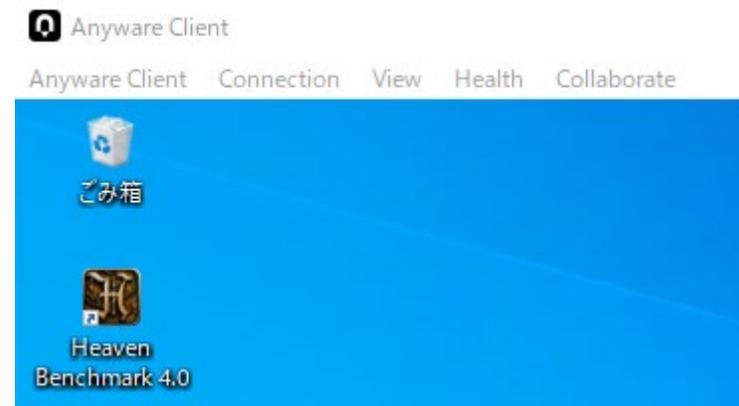
Show Full Screen All Monitors : 接続先のデスクトップ画面を、クライアントの全てのモニターに最大表示します。

Show Full Screen One Monitor : 接続先のデスクトップ画面を、クライアントの1台のモニターに最大表示します。

Tablet Monitor : ワコムタブレットで使用するモニターを選択することができます。ペンやマウスを使うかどうかの切り替えや、向き位置の選択も可能です。

Tablet Orientation Left-handed : タブレットを左利き用に設定します。

Enhanced A/V Sync : ビデオ再生をスムーズにし、オーディオとビデオの遅延の差を減らしますが、操作の応答性が低下します。



デスクトップ画面のメニュー-2

[表示]メニュー

Leave Full Screen : 全画面表示の場合、ウィンドウ表示へ切り替えます。

Show Full Screen All Monitors : 接続先のデスクトップ画面を、クライアントの全てのモニターに最大表示します。

Show Full Screen One Monitor : 接続先のデスクトップ画面を、クライアントの1台のモニターに最大表示します。

Minimize Client : クライアントの画面を最小化します。

Tablet Monitor : ワコムタブレットで使用するモニターを選択することができます。ペンやマウスを使うかどうかの切り替えや、向き位置の選択も可能です。

Tablet Orientation Left-handed : タブレットを左利き用に設定します。

Tablet Force Proportions : Wacomタブレットのタブレットフォースプロポーション機能を有効にします。
Wacomタブレット側も同様の設定が必要です。

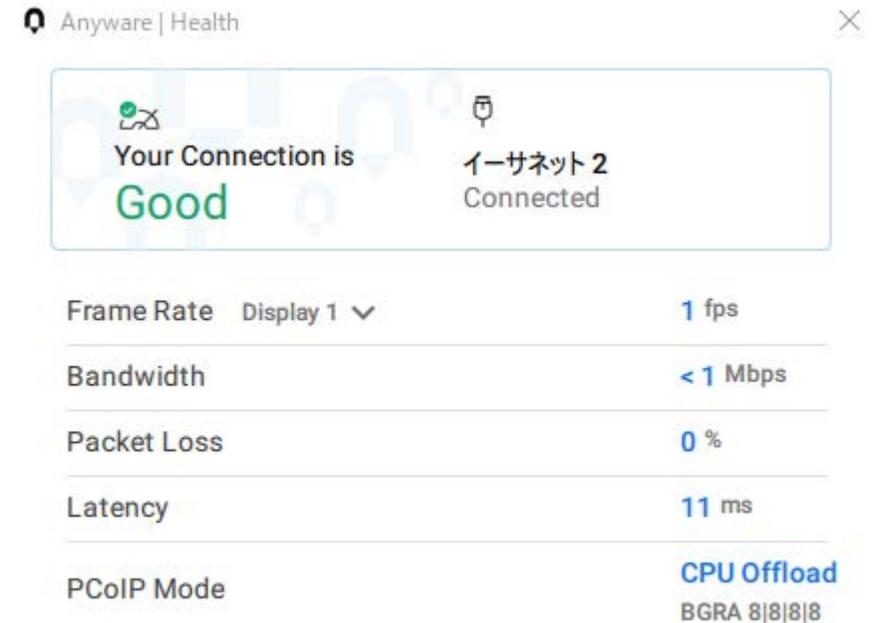
Detect Monitors : セッション中にローカルディスプレイの構成が変更された場合 (新しいローカルモニターを取り付けたり、古いモニターを取り外したりした場合など)、新しい構成を正確に表示するために、ディスプレイマッピングを更新します。

A/V Lock : ビデオ再生をスムーズにし、オーディオとビデオの遅延の差を減らしますが、操作の応答性が低下します。

[Health]メニュー

Connection Health : Health画面を表示し、ネットワークのやフレームレート、PCoIPモードなどの状態を確認できます。

Health画面



The screenshot shows the 'Health' screen with the following information:

- Header: Anyware | Health
- Connection Status: Your Connection is **Good** (イサネット2 Connected)
- Performance Metrics:
 - Frame Rate: Display 1 ▼, 1 fps
 - Bandwidth: < 1 Mbps
 - Packet Loss: 0 %
 - Latency: 11 ms
 - PCoIP Mode: CPU Offload BGRA 8|8|8|8

デスクトップ画面のメニュー-3

[Collaborate] メニュー

Invite to collaborate : コラボレーション機能のインビテーション(招待状)を発行します。

About Collaboration : コラボレーション機能の説明を表示します。

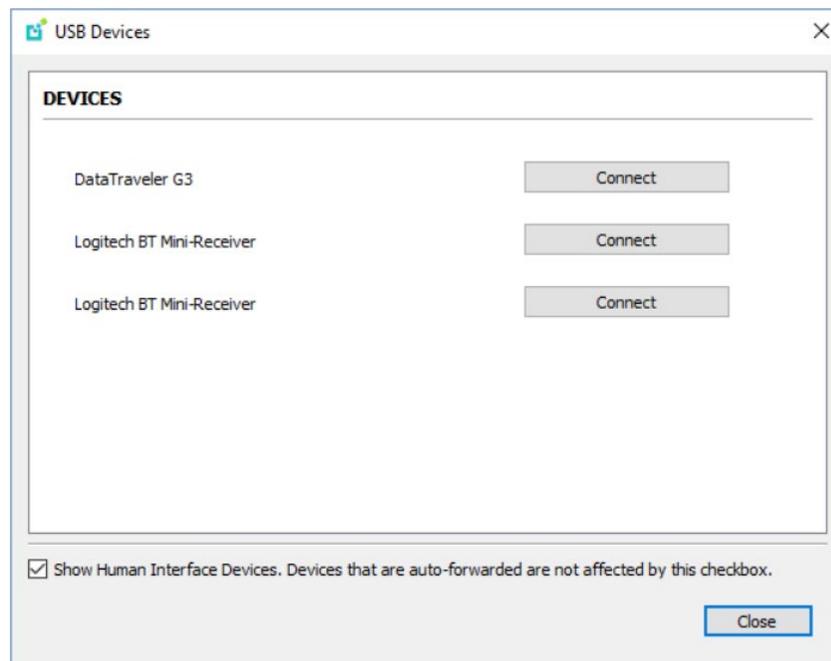
USB機器の接続

HP Anywareは、「リダイレクト」と呼ばれるプロセスを使用して、クライアントに接続されているペンタブレットやカメラなどのUSBデバイスを使用することができます。

USBデバイスは自動的にリモートデスクトップにリダイレクトされるわけではなく、セッション別に接続する必要があります。

最初に、接続したいUSBデバイスをクライアントマシンに接続します。

デスクトップのメニューから、接続 > USB機器 をクリックします。ダイアログが表示されますので、デバイス名の横にある「Connect」をクリックします。



切断する場合は、同じ手順でダイアログを表示して、「Disconnect」をクリックします。

パフォーマンスが悪い時は

HP Anywareでパフォーマンスが悪い場合、以下の設定をお試し下さい。

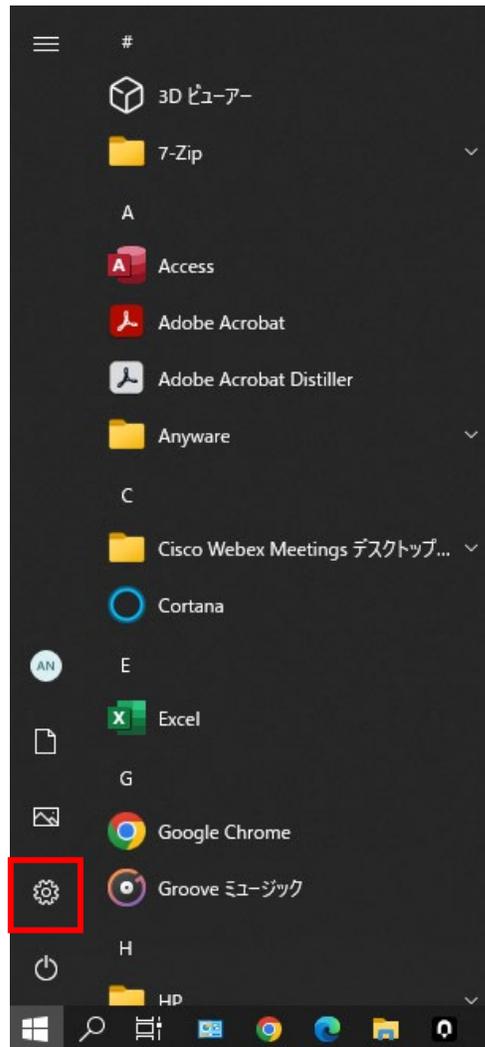
- ・ Windowsの設定
- ・ HP Anywareの設定

以下ではそれぞれの設定変更手順を示します。

推奨設定 - パフォーマンス改善(Windows) ①

[Windowsの設定]

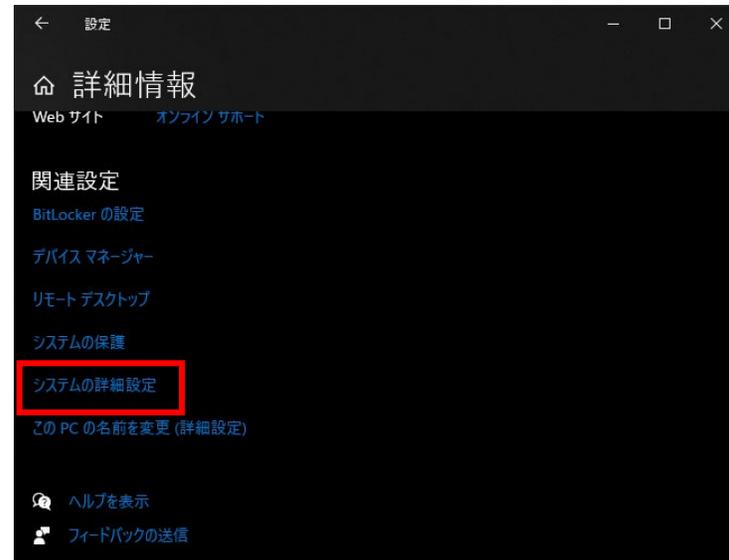
- 1) スタートメニューを開いて、歯車(設定)アイコンをクリックします。
- 2) 「システム」をクリックします。



推奨設定 - パフォーマンス改善(Windows) ②

[Windowsの設定]

- 3) 「詳細情報」をクリックします。
- 4) 「システムの詳細設定」をクリックします。

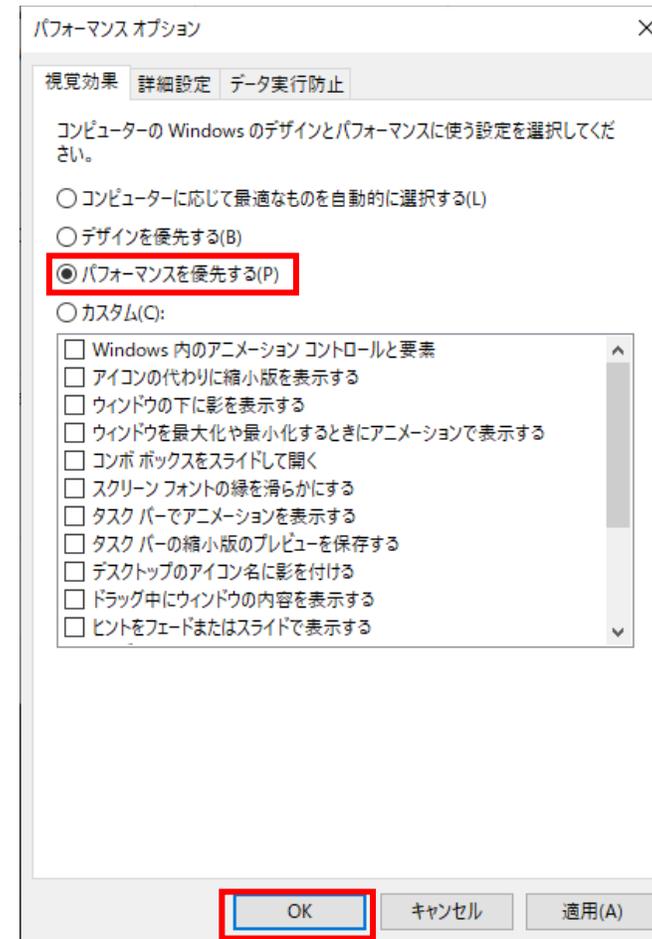
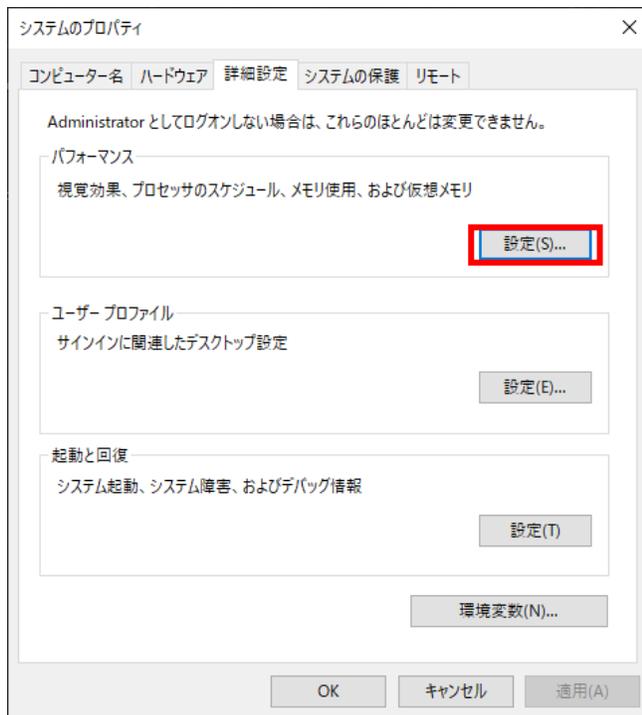


推奨設定 - パフォーマンス改善(Windows) ③

[Windowsの設定]

5) パフォーマンス欄の設定ボタンをクリックします。

6) 「パフォーマンスを優先する」をクリックします。



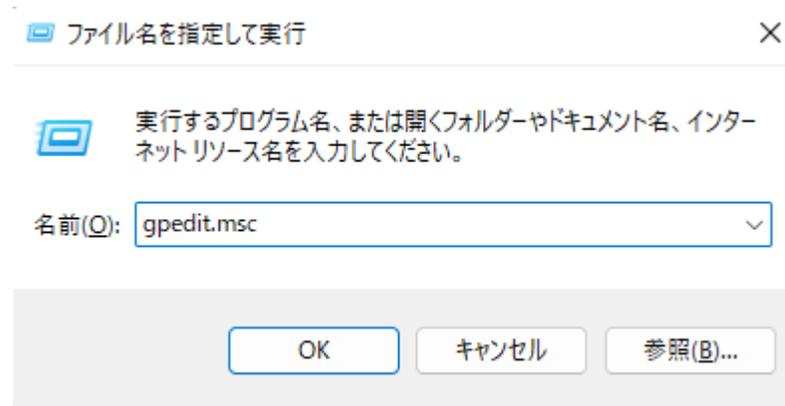
推奨設定 - パフォーマンス改善(Anyware) ①

PCoIP Ultra - Automatic Offload設定を有効にします。

※バージョン24.03より、デフォルトでAuto Offloadが有効になっています。

[Anywareの設定]

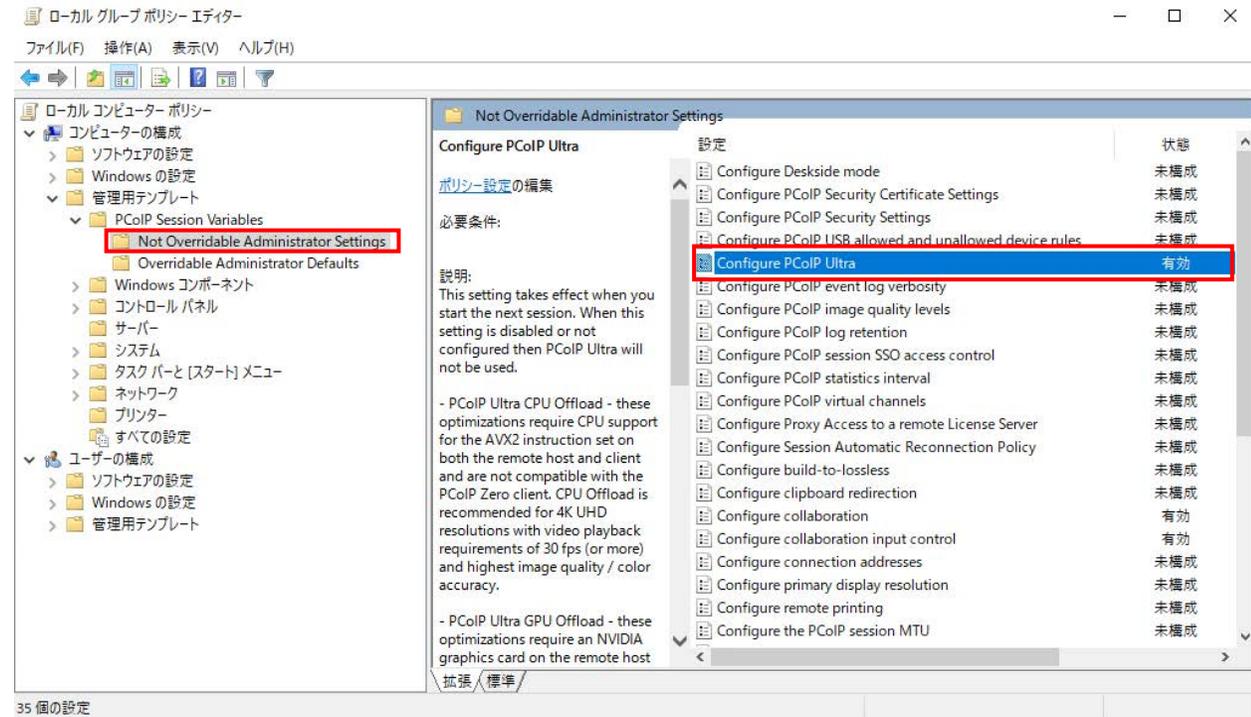
1) 管理者権限を持つユーザーでエージェントマシンへログインし、gpedit.mscを実行します。



推奨設定 - パフォーマンス改善(Anyware) ②

[Anywareの設定]

2) 「ローカルグループポリシーエディター」の左ペインから「コンピューターの構成-管理用テンプレート-PCoIP Session Variables-Not Overridable Administrator Settings」をクリックし、右ペインからConfigure PCoIP Ultraをダブルクリックします。



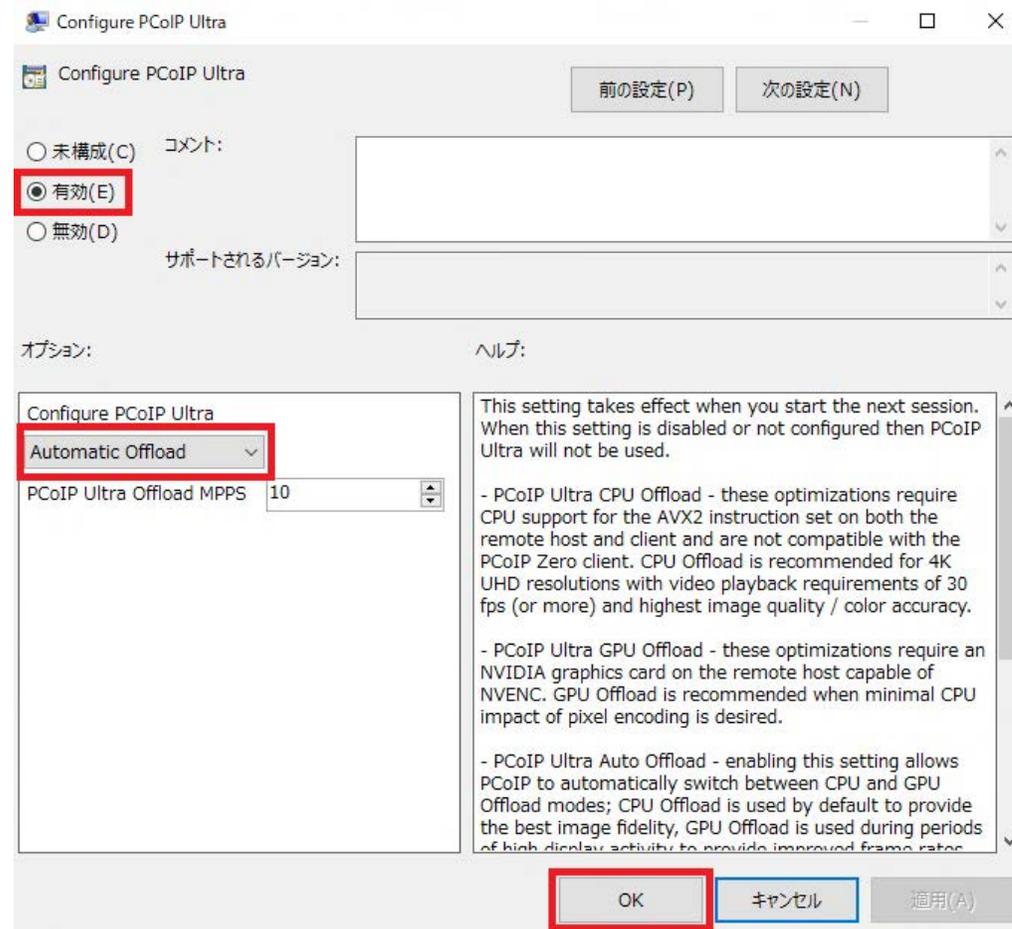
推奨設定 - パフォーマンス改善(Anyware) ③

[Anywareの設定]

3) 「有効」をクリックしてから Automatic Offloadに変更し、OKをクリックします。

4) ローカルグループポリシーエディターを終了し、エージェントのマシンを再起動します。

※Automatic Offloadで初動がもたつく場合がありますので、その際は **GPU Offload**へ変更してお試し下さい。



参考 - 用途別のPCoIP Ultra推奨設定について

Wi-Fi環境でご使用の場合、可能であれば有線環境に変更下さい。

すべての用途(ワークロード)は、LANまたは高性能WAN上で実行すると期待どおりに機能します。

「High Fidelity(高忠実度)」と「3D Rendering」の用途は最も帯域幅を消費し、「Office」と「Video Playback」はより少ない帯域幅を使用するように調整されています。

	Office	Video Playback (Limited Bandwidth)	3D Rendering	High Fidelity
Recommended PCoIP Agent:				
Standard Agent	Yes	No	No	No
Graphics Agent	Yes	Yes	Yes	Yes
Remote Workstation Agent	Yes	No	Yes*	Yes*
Recommended Agent Configurations:				
Frame Rates:	4-16	30-60	30	30
User Profiles	A/B/C/D/E	B/C	A/B	A/B
Ultra Optimizations:*	0 (Disabled)	2 (GPU)	3 (Auto-Offload)	1 (CPU)
Expected Bandwidth	+	+	++	+++

(*) ULTRA optimizations are not available when using the Remote Workstation Card or when using Zero Clients.

参照元

<https://docs.teradici.com/knowledge/tuning-pcoip-high-performance-workloads>

ありがとうございました

